

向学館通信

2009・3・26

新学年の初めに目標をたしかめ、計画を！

小6、中3、高3になった人は、受験の年です。密度を高めて学習しないと、夏以降になってあわてることとなります。目標を立てて、計画をつくり、時間を大切にしましょう。これができるれば目標が近くなります！

進学、おめでとう！

この春は、13名の中3生が高校に進学しました。

(進学先は次の通りです。複数校合格した人でも、進学校のみ記します。)

西京高校(エンタープライジング科) Mさん

嵯峨野高校(類) Hさん、

洛北高校(類) Mくん

洛北高校(類) Fくん、Hくん、Sくん、Tくん、Oさん

紫野高校(類) Fさん

京都産業大学附属高校(特進) Yくん

京都産業大学附属高校(進学) Hくん

東山高校(クレセント) Aくん、Kくん、

家庭での学習がいちばん大事です

塾で勉強しているから大丈夫と思っている人は多いのかもしれませんが。しかし、塾での学習時間は、1科目で週に1コマとっていたとしても、実質1時間ちょっとです。たとえば、数学なら数学という科目を考えますと、学校では、週に3、4時間の授業があります。これだけの授業数で進むと、わからないことが多い人は、週に1コマだけの塾での補いでは追いつかなくなります。しかし、塾の回数をそんなに増やせるわけではないのですから、家で、学校で習ったことを復習することでしか、追いつく方法がないと思います。自分で学習してみて、わかりにくいところを塾で教えてもらうということができれば、効率のよい勉強です。

ところが、学校での学習についていけない人ほど、家では勉強しないのです。こういうことで、結果として、学校の学習進度から大きく引き離されてしまった生徒の場合、その学年の勉強についていくためには、それ以前の基礎的なことを補うのにかなりの時間を要します。こういう時間が取れるのは、春休みとか夏休みしかないのですが、こういう生徒ほど、休みにになると遊んでしまいます。このような悪循環に陥った人を勉強に引き戻すのは、容易なことではありません。

「自学自習」が勉強の基本。

家でお母さんが「勉強しなさい」といっても勉強しないのは、勉強の仕方がわからないからです。毎日の学校での授業についていけなくなった人にとっては、教科書を開いて今やっているところを見てもわからないのですから、勉強になりません。では、どこまでさかのぼると今のところがわかるようになるのかということですが、これは、私たちプロでも、一人一人の弱点をつかんでさかのぼる地点を判断するのが難しいことがあるくらいです。生徒にわかるはずはないのです。だから、**塾へ自習に来て下さい**、といっています。学習方法の指示はしますし、集中できます。最近、自習に来る人が減ってきています。どうか、**自習に来てさせてください**。